

若い世代も考えようごみ問題

国道 1 号交差点で清掃

国府高生徒 4 人や市議ら作業



ごみを拾う高校生たち＝豊川市白鳥町で

豊川市白鳥町の国道 1 号京次西交差点で 29 日、県立国府高校の生徒や市議、有志らが清掃活動に取り組んだ。ペットボトルや空き缶、弁当くずなどを拾った。

この交差点は、御津方面からの車線で渋滞が多発しており、停車中の車からごみを捨てるドライバーがいる。上下線の間空き地があり、そこに捨てられる。同市下長山町の経営コンサルタント

後藤靖治さん(48)が 2022 年に道路を管理する東三河建設事務所に相談したが、改善しなかったため昨年、市議や市職員の協力でごみを拾った。今年は国道 23 号名豊道路の全線開通が目ざされているが、道路にはごみ問題など課題があることを若い世代に知ってもらおうと、交差点から近い国府高校の生徒に協力を呼び掛けたところ 4 人が参加することに。

生徒らは後藤さん、市議らと一緒に、ごみを拾った。多くのごみが散乱しており、すぐに袋がいっぱいになった。1 年の村上ティティラッチさんは「ごみの多さに驚いた。迷惑行為なのでやめてほしい」と訴えた。後藤さんは「私たちの活動が、ごみを捨てない啓発につながれば」と話した。

【竹下貴信】